平成２９年度
加古川市公開事業評価

日 時　　平成２９年９月３０日（土）午前９時３０分～

平成２９年１０月１日（日）午前９時３０分～

※受付はいずれも午前９時１５分～

会　場　加古川市役所　新館１０階　大会議室

（加古川市加古川町北在家２０００）

Kakogawa City
加古川市
いつまでも住み続けたい ウェルネス都市 加古川

傍聴される皆さまへ

本日は、加古川市の公開事業評価へお越しいただきありがとうございます。

傍 聴 手 続

○ 会場受付で必要事項を記入し、会場へ入室してください。
○ 傍聴の事前申込は不要ですので、ご都合の良い時間帯にお越しください。
　また、公開事業評価実施中の会場の出入りは自由です。

注 意 事 項

○ 公開事業評価実施中は、静かに傍聴してください。
○ 傍聴者からの意見や質問は受けられません。また、評価内容に公然と批判を加えたり、拍手その他の方法により賛成、反対などの意向を表明したりしないでください。
○ 会場内に、公開事業評価に対して傍聴者の意思を表明するもの（例：のぼり、旗、プラカード、横断幕など）を持ち込まないでください。
○ 会場内では、食事または喫煙をしないでください。
○ 携帯電話・スマートフォンはマナーモードにするか、電源をお切りください。
○ 会場内での録画、録音、撮影などは制限しませんが、他の傍聴者の方の迷惑になるような場合や公開事業評価実施の妨げになる場合は制限させていただく場合があります。
○ その他公開事業評価実施の妨げになるような行為をしないでください。

そ の 他

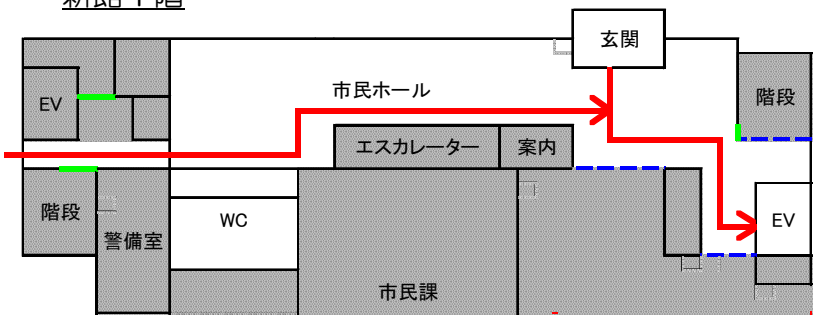
○ 次年度以降の取組の参考とさせていただきますので、アンケートの記入にご協力ください。事業評価の内容に関する意見などがある場合は、アンケート用紙にご記入ください。
○ 上記の注意事項を守っていただけない場合やコーディネーター及び職員の指示に従っていただけない場合には、退席していただくことがあります。
○ 公開事業評価の結果がそのまま市の最終判断となるわけではありません。評価結果を参考に当該事業のあり方や方針等について改めて検討を行い、市としての方向性を定めるとともに、業務改善に繋げていきます。

加古川市役所へのアクセス

●徒歩　JR加古川駅から市役所までは徒歩で約20分です。
●バス　JR加古川駅改札南口を出て駅南バス停3番乗り場から「市役所前」へ。
約7分。料金は100円です。
●駐車場　市営の駐車場「カーパークつつじ」（2時間まで無料）があります。

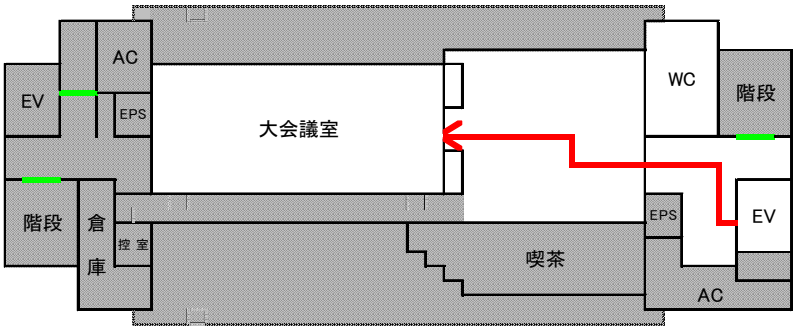
加古川市役所フロア案内図

新館１階



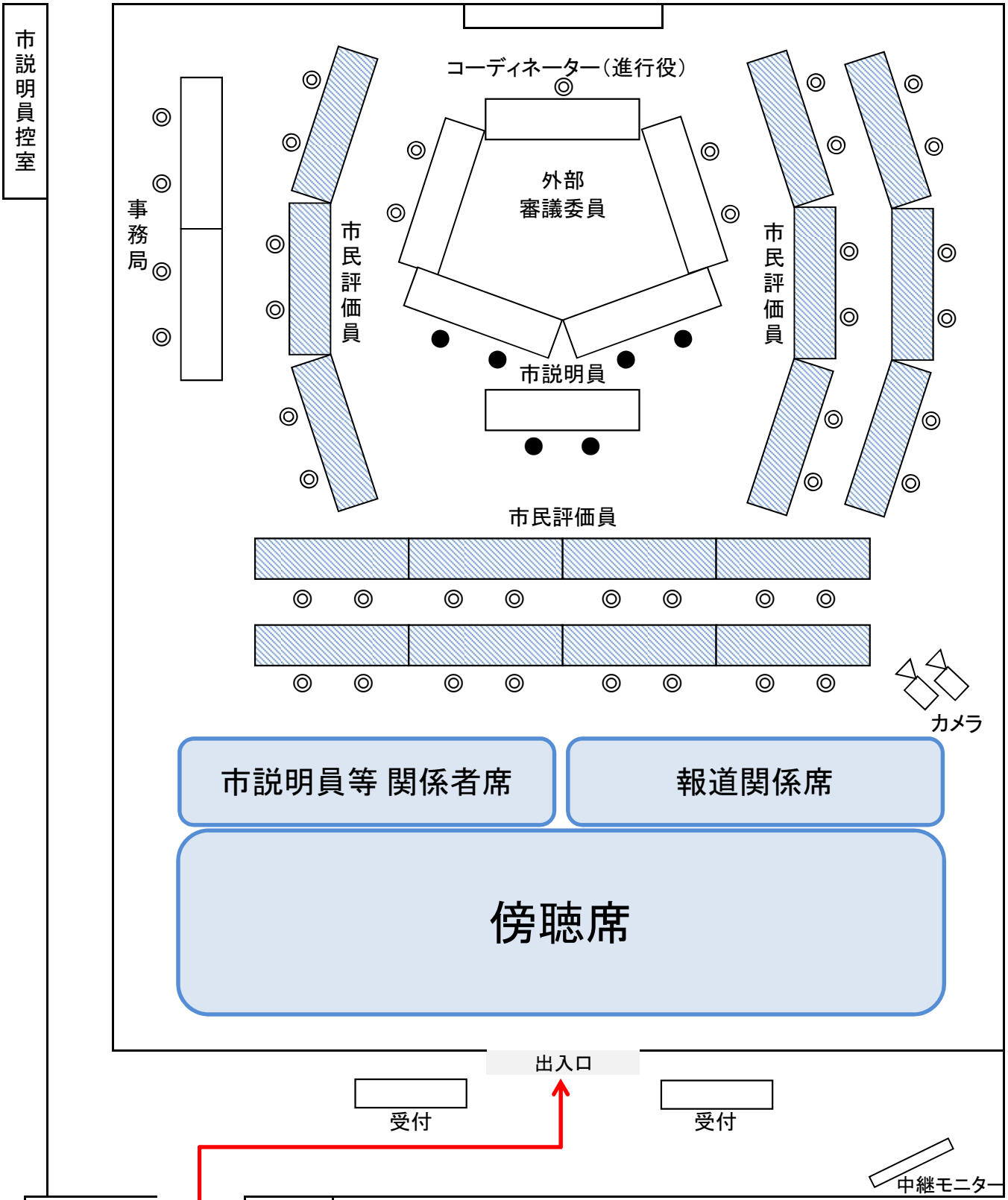
※正面玄関入口または警備室前入口からお入りください。
※休日（閉庁日）のため、網掛けの部分への立ち入りはできません。
※エレベーターで１０階会場までお上がりください。

新館１０階 大会議室



※エレベーターを降り、会場（大会議室）までお進みください。
※会場以外のスペースへは立ち入らないでください。
※庁舎内はすべて禁煙です。
※庁舎内に自動販売機はありません。

会場配置図（新館１０階 大会議室）



※会場である大会議室以外のスペースや１０階以外のフロアへ立ち入らないでください。
※庁舎内はすべて禁煙です。
※庁舎内に自動販売機はありません。

公開事業評価スケジュール

【１日目】　平成２９年９月３０日（土）

時間	No.	事業名	担当課
9:30 ～ 9:40		事務連絡等	
9:40 ～ 9:55		開会式	
10:00 ～ 11:00	1-1	レガッタ普及事業	ウェルネス推進課
11:00 ～ 11:20		休憩（20分間）	
11:20 ～ 12:20	1-2	見土呂フルーツパーク管理運営事業	農林水産課
12:20 ～ 13:20		昼食休憩（60分間）	
13:20 ～ 14:20	1-3	資源化センター管理運営事業	クリーンセンター
14:20 ～ 14:40		休憩（20分間）	
14:40 ～ 15:40	1-4	防災センター管理運営事業	消防本部総務課
15:40 ～ 15:50		１日目　講評	

【２日目】　平成２９年１０月１日（日）

時間	No.	事業名	担当課
9:30 ～ 9:45		事務連絡等	
9:50 ～ 10:50	2-1	公共交通補助事業 うち「コミュニティバス路線運行補助金」	交通政策課
10:50 ～ 11:10		休憩（20分間）	
11:10 ～ 12:10	2-2	福祉タクシー料金助成事業	障がい者支援課
12:10 ～ 13:10		昼食休憩（60分間）	
13:10 ～ 14:10	2-3	障害者（児）医療費助成事業（市） 高齢障害者医療費助成事業（市）	医療助成年金課
14:10 ～ 14:30		休憩（20分間）	
14:30 ～ 15:30	2-4	世代間交流学習会事業補助金交付事業	社会教育・ スポーツ振興課
15:30 ～ 16:00		全体講評 ・ 閉会式	

※実際のスケジュールは進行状況により多少前後することがあります。

コーディネーター・外部審議委員名簿

【１日目】　平成２９年９月３０日（土）

役　　割	氏　　名	ふりがな	所　属　等
コーディネーター	伊藤　伸	いとう　しん	構想日本　総括ディレクター
外部審議委員	安藤　真	あんどう　まこと	日清食品ホールディングス株式会社 技術開発部　部長
外部審議委員	大迫　慎太郎	おおさこ　しんたろう	三重県　農林水産部フードイノベーション課 プロモーション促進班　主査
外部審議委員	田端　和彦	たばた　かずひこ	兵庫大学・兵庫大学短期大学部　副学長
外部審議委員	松本　小牧	まつもと　こまき	豊明市　健康福祉部高齢者福祉課　課長補佐

【２日目】　平成２９年１０月１日（日）

役　　割	氏　　名	ふりがな	所　属　等
コーディネーター	伊藤　伸	いとう　しん	構想日本　総括ディレクター
外部審議委員	安藤　真	あんどう　まこと	日清食品ホールディングス株式会社 技術開発部　部長
外部審議委員	香本　なぎさ	こうもと　なぎさ	Community Nurse Company株式会社 事務局 保健師・看護師 コミュニティナース
外部審議委員	田端　和彦	たばた　かずひこ	兵庫大学・兵庫大学短期大学部　副学長
外部審議委員	徳永　眞一	とくなが　しんいち	地方独立行政法人　市立大津市民病院 法人事務局　管理監

コーディネーターと外部審議委員の役割

コーディネーター	評価作業の進行役として、議論をまとめる役割です。
外部審議委員	評価作業の中で、対象事業について「行政の関与は必要か？事業は必要か？」、「今後も市が実施すべきか？」、「現在の事業内容は適正か」といった観点から、市説明員に対して質問を行い、議論をする役割です。

※コーディネーターと外部審議委員は支援機関である『構想日本』から派遣されます。

平成２９年度加古川市公開事業評価の概要

◇目的

加古川市総合計画に掲げる都市像「いつまでも住み続けたい ウェルネス都市加古川」をめざし、市が実施している事務事業の内容について、市民の視点を取り入れた公開による事業評価を次の目的で実施します。

（１）市政に対する関心を高め、より広い市民参画を促すこと

（２）評価を通じて出た意見をもとに業務改善に取り組み、施策に対する住民満足度の向上を図ること

（３）市民と行政との協働によるまちづくりを推進すること

◇実施体制

公開事業評価を実施するための体制は次のとおりです。

名　称	役　割	人　数
コーディネーター	進行	１名
外部審議委員	質疑	４名
市民評価員	評価	１日目…３４名 ２日目…２４名 ※予定
各事業担当職員	事業の概要説明、応答	３～５名程度

◇実施方法

１事業あたりの所要時間は概ね１時間程度とし、次のとおり進行します。

順番	内　容	所要時間
１	各事業担当職員による事業の概要説明	１０分
２	外部審議委員による質疑・応答	３０分～４０分
３	市民評価員による評価	５分
４	評価結果の発表	５分

◇対象事業

部名	課名	事業名
協働推進部	ウェルネス推進課	レガッタ普及事業
産業経済部	農林水産課	見土呂フルーツパーク管理運営事業
環境部	クリーンセンター	資源化センター管理運営事業
消防本部	消防本部総務課	防災センター管理運営事業
都市計画部	交通政策課	公共交通補助事業 うち「コミュニティバス路線運行補助金」
福祉部	障がい者支援課	福祉タクシー料金助成事業
市民部	医療助成年金課	障害者（児）医療費助成事業（市） 高齢障害者医療費助成事業（市）
教育指導部	社会教育・スポーツ振興課	世代間交流学習会事業補助金交付事業
計		９事業（８コマ）

◇評価結果の区分

評価は以下の４区分により行います。

区　分		内　容
A	廃止及び抜本的見直し	事業の廃止、一時凍結又は大幅な見直しが必要
B	要改善	事業の内容や手法、事業費等に改善が必要
C	現状維持	現行通り実施
D	拡充	拡充して実施

◇評価結果の活用

公開事業評価における評価結果は、市の最終判断となるものではありません。

公開事業評価のプロセスで議論された視点や意見、評価結果等を参考として当該事業のあり方や方針、手法などについて改めて検討を行い、市としての方向性を定めるとともに、業務改善に繋げていきます。

◇結果の公表

ホームページ等において、公開事業評価の実施結果及び今後の市の方針等を公表します。

事業番号

事業シートの見方

平成29年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	★対象事業名です。	事業開始年度	★事業の開始年度です。
上位施策事業名	★前期総合基本計画の施策名を記載しています。	担当局・部名	★対象事業を担当する部局・課・係名とシートの作成責任者を記載しています。
根拠法令等	★事業実施の根拠となる法令、条例、規則等を記載しています。	担当課･係名	
事務区分	★自治事務・法定受託事務の区分を記載しています。 自治事務　　：法定受託事務以外の事務 法定受託事務：本来国、都道府県が果たすべき役割に係る事務であって、適正な処理を確保する必要があるものとして法令により市町村が処理する事務	作成責任者	
実施の背景	★この事業がなぜ必要なのか、その理由、背景を記載しています。		
目　的（何をどうしたいのか）	★この事業は何のためにやっているのか、その目的（ねらい）を記載しています。		

事業概要

対　象（誰・何を対象に）	★この事業が対象にしている人、団体、ものなどを記載しています。全住民対象の場合は、次の値を記載しています。対象者数／266,443人（H28.10.1推計人口）	対象者数（全住民に対する割合）	★対象者の全住民に対する割合を記載しています。
実施方法	□直接実施 □業務委託 又は □指定管理　（委託先又は指定管理者：　　） □補助金〔直接・間接〕（補助先：　　実施主体：　　） □貸付（貸付先：　　）□その他（　　）		★事業の実施方法について、それぞれあてはまる、すべての□を■にしています。必要に応じて「委託・指定管理・補助対象団体シート」を作成しています。

事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標
★平成28年度に行った事業内容を中心とした当該事業の概略です。 ★事業の目的を達成するために、どのような方法で事業を実施しているかやどの程度事業費がかかっているのかなどを記載しています。 ★「活動指標」は、どれだけの活動を行ったのかをわかりやすく表すものです。 ★事業が複数に分かれている場合には、その事業ごとに記載しています。		

事業内容（手段、手法など）	
関連事業（同一目的事業等）	★この事業と関連する事業（目的が類似するもの）がある場合に記載しています。

コスト

	29年度（予算）	28年度（決算）	27年度（決算）	26年度（決算）
事業費合計	★この事業に要した経費の合計額を各年度別に記載しています。			
事業費内訳（平成28年度分）	★当該事業の平成28年度にかかった事業費の内訳を記載しています。			
担当正職員	★この事業に携わった市職員の従事職員人数に、市職員の平均人件費（給料・手当・共済費など含む）の総額（正規職員の場合7,605千円）を乗じた額を記載しています（手取り額ではありません）。臨時職員等はこの事業に従事した臨時職員等、正職員以外に支払った金額を記載しています。			
臨時職員等				
人件費合計	★この事業に携わった市職員と臨時職員等の人件費の合計額を記載しています。			
総事業費	★この事業に要した事業費合計と人件費合計を総事業費として記載しています。			

財源内訳

国県支出金	★国・県からの負担金・補助金（交付金）・委託金を計上しています。
地方債	★加古川市の借金に相当するものです。
その他特財	★受益者負担分（使用料・手数料など）や基金（市の貯金）からの繰入れなどです。
一般財源	★市が自らの裁量で使用できる財源で、市税、地方譲与税、地方交付税などです。
財源合計	★この事業に必要な財源内訳の合計額です。この財源合計と総事業費は同額となります。

事業番号

事業シートの見方

平成29年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	★対象事業名です。	事業開始年度	★事業の開始年度です。

		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	H28年度	H27年度	H26年度
事業実績	活動実績	★行政サービスをどのくらい行ったか、市側が主体として活動、実施する内容を数値化し、記載しています。		/	/	/
				/	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	★活動実績がどのくらいの経費で行われたのか、その単価を記載しています。				

事業成果	成果目標（指標設定理由等）	★成果指標を設定した際の考え方を記載しています。 ★この事業を実施することで、めざす成果（めざしている状態、得ようとしている成果）を記載しています。				
		【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	H28年度	H27年度	H26年度
	成果（目標達成状況）	★事業の目標値、目的がどの程度達成されたのか、市が活動した結果、対象者にもたらされた効果・成果を数値化したものを記載しています。		/	/	/
				/	/	/
				/	/	/

事業の自己評価	事務事業評価結果	□拡充　□維持　□縮小　□改善　□統合　□廃止　□休止　□完了 ★事務事業評価の結果を記載しています。
	今後の事業の方向性、課題等	★活動実績や成果実績などから、今後の具体的な取り組みの内容、成果とコストに対する今後の考え方や、この事業をどのようにしていきたいかなどを記載しています。 ★事業の目的に対し、どのような問題があるのか（あったのか）などについて記載しています。
比較参考値（他自治体での類似事業の例など）		★業務内容や経費等が適正かどうかを確認するため、他の自治体との比較データなどを記載しています。
特記事項		★特に明記すべきことを記載しています。

加古川市公開事業評価　評価作業シート

記入の仕方

事業番号	○-○	事業名	○○○○○事業

評価者氏名	加古川　花子

該当するアルファベットを１つ選んで○をつけてください。

評価判定結果	主な理由（例示）
【A】 廃止及び 抜本的見直し	・ 行政の役割が終了している ・ 民間で実施可能で税金投入の必要がない ・ 事業の効果が無い又は低い ・ 目的を達成するための事業内容（手段・手法等）が適当ではない
【B】 要改善	・ 事業の対象や内容（手段・手法等）を見直せば、成果の向上が見込める ・ 事業費を縮減すべき ・ 自主財源確保（受益者負担を求める等）を図るべき
【C】 現状維持	・ 事業の対象や内容（手段・手法等）、事業費ともに現行通り実施すべき
【D】 拡充	・ 市民ニーズや社会情勢から、事業を拡充すべき ・ 対象を拡大すれば、成果の向上が見込める ・ 事業内容（手段・手法等）を拡大すれば、成果の向上が見込める ・ 事業費を拡大すれば、成果の向上が見込める

＜選択の理由、改善内容、その他意見等＞

・民間で類似サービスが存在しているため、市が実施する必要性は低い。

・目的を達成するための事業内容は適当だが、安定して事業を継続するためには、受益者の負担割合を見直すことが必要だと考える。

・○○○を工夫し、△△△に改めれば、事業効果が高くなると考える。

・対象者へ事業内容を上手く伝えられていない。市主催のイベントでもＰＲしてはどうか。

など

＜行政の役割として期待されること＞

どれか1つに「○」をつけてください。複数に○を付けますと、どれを選択したかわからず、正しく評価されません。

＜市民の役割として期待されること＞

「主な理由（例示）」を参考に、判定の理由や意見を自由に記入してください。

メモ

ぐうっ♥と!
かこがわ